

POWER FILE ★ 1143 FM 94.9

わたしのために、あなたのために。ラジオから届けるメッセージ。



～ピンクリボン京都 Presents～Pink ribbon Heartful message

KBS京都×αステーションのコラボでお届けする特別番組。

女性がかかる“がん”で、最も多いとされる乳がん。ですが乳がんは、早期発見であれば95%の人が治るといわれています。今や世界中にひろまるピンクリボンは、「乳がんで命を落とさない」「自分自身と、自分の大切な人を思いやる」ために、定期的な検診と早期発見・治療の大切さを訴える乳がん啓発活動です。

京都で活動する『ピンクリボン京都』も例年、京都駅前のライトアップやウォークイベントなどを主体とするキャンペーンを9月・10月に展開。しかし、コロナ禍でイベント実施が難しい今年は大きくかたちを変えることとなり、その一環としてラジオ特別番組『～ピンクリボン京都Presents～Pink ribbon Heartful message』が企画されました。

KBS京都とαステーションのスペシャルコラボのもと、乳がんを学び、考えるこのラジオは、10月11日(日)にKBS京都ラジオのスタジオで収録。KBS京都の遠藤奈美アナを進行役に、αステーションからは元祇園甲部芸妓でジャズシンガーのMAKOTOさんが登場しました。そして、ピンクリボン京都実行委員会の実行委員長で、京都府立医科大学教授の田口哲也先生にも加わっていただきました。



体験談も交えながら、乳がんの実情と検診の重要性を伝えて。

まずはピンクリボン運動の紹介から、幕を開けた番組。長年、運動に携わり、司会や歌のお姉さんとして活躍する小原かずよさんも迎えて、ピンクリボンについて掘り下げました。田口先生は、乳がんの実情を解説。ピンクリボン運動がいち早く始まったアメリカなどでは、年々乳がんでの死亡率が低下しているといいます。一方で日本では、上昇が続いているという現実、検診の重要性があらわれています。アジア



でいえば、韓国は検診率60%に対して日本は40%前後。最近になってようやく全国水準になってきた、京都の検診率にもふれました。

また、乳がんを経験したMAKOTOさんが、自身の体験談を紹介。改めて早期発見の重要性を説きます。以来、ピンクリボン活動に携わるようになったMAKOTOさんは、仕事に家事にと、自身のことは後回しにしがちな現役世代の女性に向けて「自分と向き合う時間を持つてほしい」と呼びかけます。小原さんも、「痛



い」というイメージから乳がん検診を避けている人たちへ、「大切な家族のためにも勇気をもって」とメッセージを発しました。

続いて、シンクロナイズドスイミングの五輪メダリストでスポーツコメンテーターの奥野史子さんを迎えました。現役引退後、スポーツの枠を超えて活躍する奥野さんは、ピンクリボンのボランティア活動にも参加されてきたとか。検診での体験談やホルモンバランスの乱れなど、女性ならではの悩みについてトークしました。



また、西脇隆俊京都府知事や門川大作京都市長のコメントを紹介し、ピンクリボンの活動が行政・医療機関・民間企業などさまざまな組織と人の協力で成り立っていることを実感。企業のお話も伺うべく、(株)ワコール広報・宣伝部の山本奈津子さんを迎えました。乳がんの知識や早期発見の大切さを伝える活動から、術後のサポートまで、「ワコールプレストケア」と名付けて取り組みを行っているそうです。その活動は、地元・京都をはじめ全国、世界でも展開。

乳がんの知識と情報にふれ、それぞれに考えを深めた1時間。民間、行政を超えた繋がりのおかげでひろがるピンクリボンの精神を、感じられるラジオとなりました。番組は、KBS京都ラジオでは10月25日(日)12時から13時、αステーションでは10月26日(月)10時から11時にオンエア予定です。

ラジオで、街で、ウェブで。ピンクリボンのメッセージを発信。

また、ラジオ特番以外でも、啓発活動を繰り広げるピンクリボン京都。今回のキャンペーンは、9月27日(土)に行われたライトアップ事業からスタートしました。街のランドマークである京都タワーをはじめ京都駅周辺の社屋などがピンクに染まり、乳がん啓発のメッセージを発信。さらに「ピンクリボン京都 YOUTUBEチャンネル」を開設し、動画でもカウントダウンとライトアップの様子を配信しました。

専用チャンネルはその後11月10日(火)まで、乳がんに関する講演やトークセッションなど多彩な動画を配信し、各パートに隠されたキーワードを見つけるとプレゼントがもらえるという楽しい仕掛けも施されています。

たくさんの命と笑顔を守るため、繰り広げられるピンクリボン運動。今回のラジオを通じて、その大切なメッセージが一人でも多くの人へ届きますように。

